

【別紙】

① 自動運転実証実験の概要

実施路線：飯 20 飯能駅南口～美杉台ニュータウン 片道 2.5 km

実施日：2023年7月12日(水)～21日(金) (土日祝日を除く)

実施日において路線バス営業時間内に走行いたします。

※実験準備の為、実験車両が実施日以外にも走行している場合があります。

※天候や道路状況、車両トラブル等により変更となる場合があります。

※今回の実験では技術的な検証を目的としているため、お客さまはご乗車いただけません。

あらかじめご了承ください。

実験車両：先進モビリティ株式会社所有 エルガミオ 1台

② 今回の実証実験のポイント

- ・通常のバスも運行している中で、自動運転バスも走行します。
- ・「自動運転レベル2(※)」の実験となり、アクセル、ブレーキ、ハンドルを自動操作します。
- ・不測の事態に備え、運転席には乗務員が着席します。

※JASO TP-18004 および国土交通省の報道資料（2021年12月11日発表）「自動運転車両の呼称」より作成

レベル	技術名称	自動運転レベルの概要	運転操作※の主体	対応する車両の名称
レベル0	運転自動化なし	運転者が全ての運転タスクを実施。	運転者	—
レベル1	運転支援	アクセル・ブレーキ操作またはハンドル操作のどちらかが、部分的に自動化された状態。	運転者	運転支援車
レベル2	部分運転自動化	アクセル・ブレーキ操作およびハンドル操作の両方が、部分的に自動化された状態。	運転者	
自動運転システムが（作動時は）全ての動的運転タスクを実施				
レベル3	条件付運転自動化	特定の走行環境条件を満たす限定された領域において、自動運行装置が運転操作の全部を代替する状態。ただし、自動運行装置の作動中、自動運行装置が正常に作動しないおそれがある場合においては、運転操作を促す警報が発せられるので、適切に応答しなければならない。	自動運行装置（自動運行装置の作動が困難な場合は運転者）	条件付自動運転車（限定領域）
レベル4	高度運転自動化	特定の走行環境条件を満たす限定された領域において、自動運行装置が運転操作の全部を代替する状態。	自動運行装置	自動運転車（限定領域）
レベル5	完全運転自動化	自動運行装置が運転操作の全部を代替する状態。	自動運行装置	完全自動運転車

※ 車両の操縦のために必要な、認知、予測、判断及び操作の行為を行うこと

## 【別紙】

### ③ 関係者の概要

#### 西武バス株式会社

西武バスは、「安全は全ての業務に優先する」の安全方針のもと、西武鉄道沿線を中心に一般乗合バスは東京都西部、埼玉県南部を、高速乗合バスは北信越、近畿方面を事業エリアとした、地域社会を支えるバス事業者です。昨年度（2022年度）は、設立90周年を迎え、西武グループのスローガンである「でかける人を、ほほえむ人へ。」を胸に、「安全・安心そして快適なバス輸送の提供」という使命を果たし、お客さまの生活に必要な新しいサービスの創出とお客さま満足度の向上に「チャレンジ」してまいります。

西武バスウェブサイト URL: <https://www.seibubus.co.jp/>

#### 先進モビリティ株式会社

先進モビリティ株式会社は、東京大学生産技術研究所の次世代モビリティ連携研究センターの技術を基礎に、バス、トラックなどの大型車両の自動運転技術の事業化による社会貢献を目指すベンチャー企業です。当社が目指す自動運転システムは、様々な道路環境に適応し、安全に自動運行を可能とするシステムです。車両制御、環境認識領域における最新の技術を導入して、目標とする自動運転システムの実現、社会普及を通じて、ドライバー不足や高齢化による公共交通や、物流の維持に関する社会問題の解決に貢献していきます。

#### 日本ペイント・インダストリアルコーティングス株式会社

日本ペイント・インダストリアルコーティングスは建設機械、外装建材、家電製品をはじめ、鉄道車両など多岐に渡る工業分野に塗料を展開しています。これまで塗料分野で培った技術を活かし、自動運転用塗料「ターゲットラインペイント」を開発しました。ターゲットラインペイントはLiDAR（自動運転用のセンサー）が認識できる特殊塗料で、走行経路に塗装するだけで自動運転用のインフラ整備が可能となります。2022年より全国各地の実証実験で導入されており、今後も安心・安全な自動運転の普及に貢献することを目指しています。

#### 日本電気株式会社

自動運転の実現には、遠隔監視の環境および緊急時に迅速な対応を行える仕組みが不可欠です。NECは、独自の技術により「途切れない映像配信」、「危険シーンの自動検知」の機能を実現し、高精度な遠隔監視業務の環境を提供します。また、今回の実験では「道路劣化AI診断サービス くるみえ for Cities」により、従来運転手による目視で実施しているバス走行路線上の道路舗装の点検をAIにより代替することを想定した検証を行います。

NECは、これらの技術を活用し、安全・安心な公共交通における自動運転社会の実現に貢献します。

※「車外・車室内状況見守りソリューション」

<https://jpn.nec.com/manufacture/jidousya/mimamori/index.html>

※「道路劣化AI診断サービス くるみえ for Cities」

<https://jpn.nec.com/machimie/index.html>

【別紙】

NEC ネクサソリューションズ株式会社

NEC ネクサソリューションズは40年近くに亘りバス事業者様向けにバスターータルシステムの開発、導入を行ってまいりました。導入事業者様につきましても、公営の事業者様、民営の事業者様また都市部の事業者様、地方の事業者様と様々な運行形態の事業者様に導入いただいております。昨今のDX（デジタルトランスフォーメーション）ではダイヤ自動組み、画像解析等を活用した安全管理等の実験に取り組んでおります。

NEC ネクサソリューションズ URL: <https://www.nec-nexs.com/sl/bus/>